

2025 年度青島日本人会 総会 議 案 書

第 1 号議案 2024 年度事業活動報告の承認

- (1) 全 般
- (2) 商 工 会
- (3) 生活文化会
- (4) 青島日本人学校運営理事会

第 2 号議案 2024 年度 会計報告の承認

第 3 号議案 2024 年度 会計監査報告の承認

第 4 号議案 2025 年度 理事及び監事選任

第 5 号議案 2025 年度 活動計画の承認

- (1) 全 般
- (2) 商 工 会
- (3) 生活文化会
- (4) 青島日本人学校運営理事会

第 6 号議案 2025 年度 会計予算の承認

以 上

第1号議案

(1) 2024年度活動報告（全般）

青島日本人会会長
能勢 稔彦

1. はじめに

本日はご多忙にも関わらず本総会にご参加頂き、誠に有難う御座います。

早速、2024年度の主要活動について振り返ってみますと、5月の縁日からスタートし、6月の運動会、10月のジャパンデイ、そして12月のクリスマス会とすべての文化会イベントを開催することが出来ました。国内で、色々な事件があった中で、ぎりぎりまでご調整頂きました生活文化会の皆様に、改めて感謝申し上げます。それらのイベント中で、個人的に特に感慨深かったのは、最初のイベントであった縁日で、前回の開催が、当方が前回会長をしていた時でしたから、実に5年ぶりの再開となりました。

8月には金杉大使をお迎えし、齋藤総領事主催の意見交換会に参加させて頂きましたし、その後の曾青島市書記との会食にも、会長として参加させて頂き、円卓会議継続の件含め、直接意見交換をさせて頂いたことは深く印象に残っています。また友好都市の下関市や和歌山県の記念イベントにも参加させて頂きました。

11月には、JETROさま、領事館さまと共に威海の企業視察、威海日本人会との交流会を実施。

1月には、張副書記出席のもと、2回目となる「青島市日系企業円卓会議」に参加し、私からは、青島市政府に、日常生活の安全対策強化、バイク対策、日本から来られる方々への支払いツールの利便性向上、業界別交流会を通じた優遇政策等の説明会実施など、四つのお願いをさせて頂きました。

また、2月には、初の試みとして国際大会に参加する日本バドミントン選手団と青島日本人学校の生徒たちのバドミントン・直接プレイ交流会を実現し、子供達に大変喜んで頂けた事は、良き思い出となっています。スポーツや文化を通じた交流を、今後も当会として継続していければ、と強く思った次第です。

2月末には、領事館主催の天皇誕生日レセプションや山東省日本人会交流会へも参加させて頂き、活発に情報・意見交換をさせて頂きました。

活動報告は以上となりますが、当会会員の皆様方には、この場をお借りし、運営に対するご協力とご支援に心より感謝申し上げます。また、日本人学校の学習活動に際しても、企業訪問やキャリア講演会、体験学習の場をご提供頂き、改めて感謝申し上げます。

2025度も、商工会と各部会、生活文化会、日本人学校、婦人会、公認同好会等、それぞれが多彩な活動計画をもって皆さまにお声掛けさせて頂く事となりますので 積極的なご参加とご支援をお願い申し上げます、2024年度の活動報告とさせて頂きます。

1年間、誠にありがとうございました。

(2) 商工会 活動報告

商工会会長
野田 大輔

1. 活動実績報告

商工会は、会員企業の中国での事業発展と円滑化を支援するために、有益な情報の共有と交流の場を提供することを目的として活動しています。2024年度の主要な活動実績は、前年度同様5回のセミナーを開催、下部組織である各部会や地区部会におけるイベントサポートとなります。セミナーについては、在青島日本国総領事館やJETRO青島代表処とのご支援とご協力を頂戴しております。また、昨年度は新たな試みとして、総会でご意見が出ました個人会員様へのご案内、遠方の方にもご参加頂けるオンラインセミナーの創設、また青島の魅力の一つである海辺のサンセットを見ながらホテルBBQでの懇親会を開催しました。本年度も会員企業様のお困りを解決する一助、また交流の場として充実した青島生活が送れますよう取り組んで参ります。

2. セミナー開催実績

	日付	講師	演題	共催	人数
1	5/24 (金)	北京立動法律事務所 代表弁護士 税理士 章啓龍 様	2024年重要法令のアップデート	JETRO 青島代 表処	48
2	8/23 (金)	ジェトロ上海 海外投資アドバイザー 福田和俊 様	中国事業経営参考セミナー ―面談して見えてくる日系企業 の抱える問題とその対処につ いて―	JETRO 青島代 表処	39
3	9/20 (金)	大地（青島）法律事務所 代表弁護士 熊琳 様	一人からでも対応可能な合法的 リストラとその労務対応ポイン ト		47 10（オンライン）
4	11/22 (金)	森・濱田松本法律事務所 弁護士 パートナー 森規光 様 弁護士 塩崎耕平 様	中国独占禁止法の最新動向と実 務上の留意点	日本国 総領事 館	17 8（オンライン）
5	2/14 (金)	コチ コンサルティング （上海）有限公司 総経理 畑伴子 様	2025年度の報酬動向考察と事業 環境変化への対応	JETRO 青島代 表処	33 20（オンライン）

《食品部会》

部会長 滝浪 晋

1. 2024 年度活動報告概要

2024 年度は、工場施設視察 2 回、セミナー1 回と活発な活動を行うことができました。5 月には 1 泊 2 日にて栄成市石島を訪問、2 月は青島市内での視察会を開催しました。また 9 月にはセミナーを開催致しました。ご参加いただいた会員の皆さまに、この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

2. 活動実績

「食品関連施設見学会 1」

概 要 : 栄成市の漁港～水産・食品加工会社の視察。
参加者の皆さんとの親睦会。

開催日時 : 5 月 28～29 日

参加者 : 18 名

見学先 : 山東中日食品産業(栄成)商談交流会参加・石島遠洋漁港・鑫発集団(マグロ加工)・泰祥集団(食品加工)・栄成海洋食品博覧中心

「食品部会セミナー」

概 要 : 中国における調理済食品に関する最新法令動向について

開催日時 : 9 月 20 日

参加者 : 22 名

場所 : クラウンプラザホテル

「食品関連施設見学会 2」

概 要 : 青島市近郊の食品製造会社の視察。
参加者の皆さんとの親睦会。

開催日時 : 2 月 21 日

参加者 : 22 名

見学先 : 青島東方航空食品(航空機機内食)・吉宝生物科技(香辛料)



青島東方航空食品視察



栄成市石島遠洋漁港視察

3. 2025 年度の活動方針

昨年度は、予定通り 3 回の研修会を開催し、多数の会員にご参加頂きました。特に、機内食を製造する東方航空食品訪問を訪問後、各社個別に新規商談を実施するなど、会員各社のビジネス拡大に貢献することが出来ました。

今年度は昨年同様、外部視察を含む活動を年 3 回程度計画致します。特に、部会員企業の共通課題である中国国内への事業拡大を念頭に、地元企業との関係強化を目的とした商談会、中国企業訪問等のイベントを企画したいと考えております。

処理水放出に伴う日本産水産物禁輸が引続き実行されていることに加え、トランプ政権が中国製品に対する追加関税を実行し、中国政府もその報復関税を米国産農産物に課すなど、日系食品関連企業にも影響が発生しています。

このような中国を取り巻く国際関係の変化については、引続き、在青島日本国総領事館、JETRO 青島代表処等と緊密に連携し、部会員の皆様に有用な情報を提供致します。今年度は、こうした方針のもと、食品部会としての活動を推進していく所存ですので、引続きよろしくお願い致します。

《繊維部会》

部会長 山部 秀紀

1. 2024 年度活動報告

2023 年度は部会の活動は実施出来ず終いでしたが、2024 年度は 6 月に第 1 回目として懇親会を開催し、参加された 23 名の会員の皆様に自己紹介及び近況報告をして頂きました。第 2 回目は 11 月に城陽区にある青島日毛織物有限公司様の工場へお邪魔させて頂き、参加者 15 名で毛織物の生産現場を見学させて頂き、羊毛の性質についての説明をして頂き貴重な体験をさせて頂きました。第 3 回目は 3 月に懇親会を開催し、18 名の参加で帰任される方や新たに赴任された方から青島での思い出や、青島の第一印象等についてお話を聞かさせて頂きました。繊維部会へご参加頂きました会員の皆様へ御礼申し上げます。

2. 2025 年度の活動について

繊維業界はここ数年、特にコロナ禍以降は消費行動の変化があり生産量が減少し、物価高や人件費・材料費の高騰等で利益が上がりず苦戦の年が続いておりますが、2025 年度は会員企業の皆様と情報共有の場として活気ある活動を行い、微力ながら青島の繊維業界を盛り上げていければと思います。

活動内容としては、繊維関係の工場見学をメインに今年度も昨年同様 3 回の部会を開催したいと考えております。

《機械・電機・化学部会》

部会長 新関 亘

1. 総括

2024年度、弊部会として実に4年ぶりのイベントを開催できました（22年度までは新型コロナウイルスの影響、23年度はイベント企画も諸事情により中止）。当年度から私は部会長を任命されましたが、部会活動に向けまず4月1日に部会幹部懇親会を開催致しました。そして生産現場力強化の共通課題の一つである「安全・防災・環境」をテーマとし、青島新東機械有限公司様施設の「技能安全体感センター」での講習会を8月22日に開催することができました。参加者からはとても満足だったとの声もいただき、「安全・防災・環境」のテーマに関しては定期的な開催が望まれることも認識致しました。ただし部会活動としては年間通してこの1回のイベントだけに留まってしまいました。

2. 2025年度の活動について

「安全・防災・環境」は製造業における大きなテーマですので、引き続きそれに対応した講習会の企画を考えていきます。また製造現場の学び合いを目的とし、各社工場の見学ツアーと共通課題に対する取り組みについてのグループディスカッションなど、製造業ならではの課題解決のヒントを得る場の設定も考えております。各社所在地が広域である事による交通移動手段の確保、各社様の生産負荷ピークや決算時期が異なるなど、我々の部会は開催に対して難しい状況ではありますが、当年度は何とか2回/年以上の開催を実現したいと考えております。

《流通サービス部会》

部会長 岡本 将紀

1. 総括及び2024年度活動

流通サービス部会は物流、倉庫、小売、各種サービス（医療、通信、人材派遣等）、金融など多岐にわたる業種の会員企業様が集まっており、現在約100社（140名）様にご登録頂いております。

多くの所属企業が日系企業向けのサービス提供を行っており、共通の悩みなどを相談できるような人脈作りの機会や情報提供を意識した運営を行ってまいりました。

具体的な活動は、以下の2点になります。

1点目は、6月に新規赴任者を交え懇親会を実施しました。ご多忙の中、24名にご参加頂き盛会となりました。2点目は、11月に青島膠東国際空港（国際貨物）視察見学会

を企画し、定員を上回る 22 名にご参加頂きました。昨年度は、部会メンバー以外の会員様にもイベント周知することで、部会以外の参加者もあり、部会の垣根を超えた人脈作りができたとの声も頂きました。

2. 2025 年度活動について

2025 年度は、会員企業様のお役に立つような情報提供や懇親の場を設定し、当部会としてより会員企業様の事業活動のお役に立てるような活動を実施して参りたいと考えております。具体的には、懇親会・施設見学会等年 2～3 回程度の活動を予定しております。

(3) 生活文化会 活動報告

生活文化会会長

岩田 知大

1. はじめに

生活文化会は青島日本人会という日系コミュニティの融和と繁栄を目的に、会員各位の青島での充実した潤いのある生活の実現を図るため、在青島日本国総領事館、青島日本人会所属の各部会、青島日本人学校等と連携して、各種の親睦活動、生活文化関連の取り組みを行っております。

生活文化会には、「婦人会」、「六つの同好会（2025年4月1日現在）」が帰属し、それぞれが青島において活発な活動・運営を継続しており、これらの活動・運営への支援を行っております。

他方、地域図書館「ちんたお文庫」の活性化と運営全般、生活情報配信「月刊青島」の運営・編集にも密接に携わりながら協力・支援を続けています。

また、日本人会の皆さまの安全を確保し、快適な青島での生活を送っていただくため、在青島日本国総領事館と連携し、安全関連情報の収集、配信にも努めています。

2. 主な行事活動

2024年度は、5年振りの開催となった縁日を含め、予定していた全ての行事活動を遂行することができました。以下にて詳細をご報告致します。

①縁日

6月15日（土）に麗晶大酒店の屋上テニスコートを貸し切り、5年ぶりとなる日本人会縁日を開催致しました。々な制限がある中、総領事館、日本人学校、日本人会会員の皆様のご協力の下、入念に準備を行い、無事に開催することが出来ました。会員企業様によるお好み焼きや焼きそば、焼き鳥、揚げ物、巻物、かき氷、お酒、ソフトドリンクなどの飲食に加え、ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、輪投げ、ストラックアウトなどのゲームなどとても充実した内容になりました。また小さなちりとりを使った駄菓子すくい、スイカ割りなど、いわゆる日本の夏祭りでしか経験出来ないイベントも盛り込ませて頂き、子供たちにとっても楽しんで頂けるものであったと感じています。

②青島日本人会運動会

6月29日（土）青島日本人学校体育館にて、総勢154名の会員企業様、ご家族様ご参加の下、開催致しました。開催直前に、学校への移動手段として大型バス3台手配する等、柔軟な対応が求められましたが、イオン東部店様、総領事館、日本人学校を始め様々のご協力を頂き、無事に実施することが出来ました。競技中は、リーダーとなって頂いた日本人学校の先生統率の下、リレー、障害物競走、長縄跳び、綱引きなど、

大人と子供が入り混じり、笑顔が沢山溢れる一日になりました。

③クリスマス会

12月14日（土）に、昨年度に引き続きシャングリラホテルにて日本人会クリスマス会を開催致しました。総勢 272 名の会員の皆様にご参加頂き、日本人学校児童による和太鼓演奏、児童主導で行った BTS のダンス、大人の有志の方々で行った YOASOBI のダンス、また 68 社の会員企業・個人様からご協賛を頂いたプレミアム抽選会やお土産袋など、参加頂いた皆様楽しんで頂けるものだったのではと考えております。ご協賛頂きました会員企業様、事前準備や当日の運営にご協力を賜りました多くの会員の皆様、日本人学校関係者の皆様、公認同好会の方々にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

3. 総括

2024 年度は縁日、運動会、クリスマス会の三つの行事を開催しました。2025 年度も生活文化会として行事を企画してまいりたいと思いますが、例年実施していた運動会については、開催時期が縁日と被ってしまうため、2025 年度は実施せず、今年度の行事は縁日とクリスマス会の二つに集約したいと考えています。

会員企業の皆様方には引き続きご理解並びにご協力、ご支援、またご参加を頂戴したく、宜しくお願い申し上げます。

また、上記以外に生活文化会としましては、情報誌である「月刊青島」を発刊するとともに、青島日本人学校内で図書の出借を行っている「ちんたお文庫」を運営しております。充実した文庫数、蔵書環境が整っておりますので、是非ご利用ください。

更に婦人会の活動、ゴルフ・テニス・ソフトボール・卓球・サッカーの体育会系同好会と写真同好会の活動の支援も行っており、それらの活動報告を以下に載せましたので、ご一読いただければ幸いです。

《ちんたお文庫活動報告》

役員 弓戸・原田

文庫蔵書総数	4814 冊(およそ)
新規会員年間総数	14 人
年間利用者延べ数	450 人
寄贈本年間冊数	419 冊(登録済みの本のみ)

<役員活動内容>

- ・情報誌における施設利用案内掲載についての連絡・調整(月1回)
- ・『ちんたお文庫便り』の掲載(2016年4月より季刊発信)
内容:おすすめ児童書、新着登録本の紹介、利用案内等

<今年度活動報告>

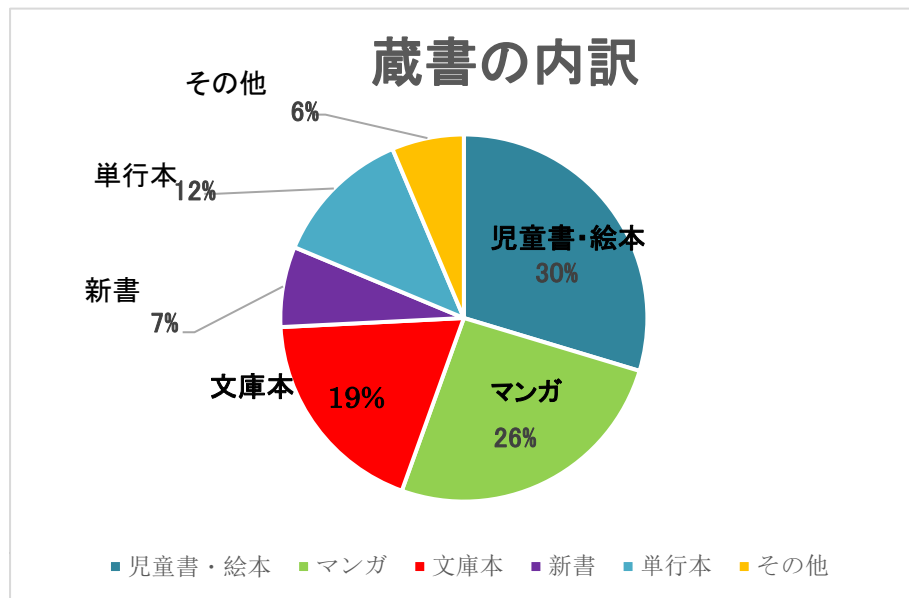
- ・土曜、日曜の開館(アルバイトによる運営)
- ・日本人会事務局での絵本出張貸し出し
- ・ボランティアによる図書整備活動(2024.6.20、2024.11.27)

<総括>

昨年度同様1年を通して開館することができました。昨年度より減少傾向が見られましたが、新規会員、利用者共に一定数おり、ボランティア募集には多くの参加を頂き、6月20日と11月27日のボランティア活動では、寄贈本の登録や図書の整備を行うことができました。

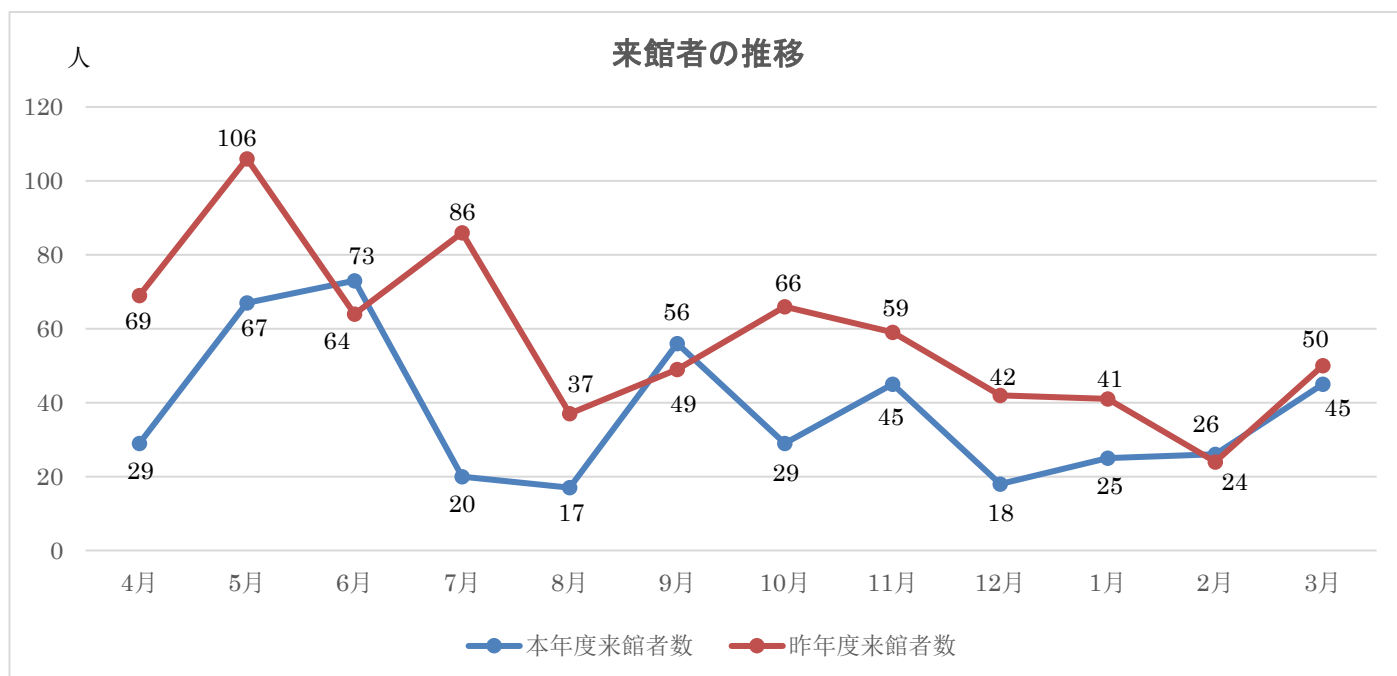
乳児や未就学の小さなお子さんのいるご家庭が利用しやすい様、日本人会事務局の一角に置かせていただいている「絵本貸し出し出張所」は一定の利用者がおり、要望もあることから継続していくこととなりました。

蔵書の内訳につきましては次のとおりです。(2024年3月時点)



今後の課題としては、ちんたお文庫をさらに多くの方に知っていただくこと、また、利用しやすくすることなどです。ちんたお文庫をご存じない方もいらっしゃいますし、日本人学校の校内にあるため、学校関係者以外の方からは「ちんたお文庫があることを知らなかった」「どうやって入ったらよいか分からない」「休日の学校には入りづらい」「ちんたお文庫が学校のどこにあるのか分からない」という声があるようです。ちんたお文庫の存在のほか、アクセスや入館方法を周知していくことでご利用を促進したいと思います。また、ボランティアメンバーに関して、基本ボランティア参加者は青島日本人学校関係者が多いことから、今回の帰任等による人数減少が多く考えられます。ボランティアメンバーの増員は、幅広い方への周知や来館者を増やすことにもつながりますので、より多くの方々にご協力いただけるようにお声がけしていきたいと思ひます。

そして、会員の皆様から寄贈いただいた書籍の登録を引き続き役員とボランティアで進めていき、ちんたお文庫の書籍の充実、環境整備に努めていきたいと思ひます。ちんたお文庫では、絵本や児童書はもちろん、ビジネス関連の書籍や新書、文庫本など幅広いジャンルの本を寄贈していただいております。今後も青島在住の皆様へ気持ちよく利用していただける図書館になるよう努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



■ 2024 年度 ちんたお文庫 来館者の月別推移

《情報誌「月刊青島」》

編集担当 事務局

青島日本人会生活文化会では、WEB情報誌の「月刊青島」を発信しています。「青島をもっと知って、もっと楽しく！」をモットーに、「あなたとつくる・つながるWEB情報」として、毎月15日を目処に発信しています。

「月刊青島」では総会、縁日、クリスマス等の日本人会の活動についての報告、総領事館・ジェトロ・青島日本人学校からのお知らせ、「公認同好会だより」、「グリーン放弾」、「ちんたお文庫だより」、「婦人会通信」及び会員の動向等の情報を掲載しています。

とはいえ、最近ではネット上で日本語の読み物に接する機会は以前とは較べものにならないくらい増えているため、「月刊青島」を読んでもらっている会員はかなり減っているように感じております。

「月刊青島」が日本人会会員に興味を持っていただけるにはどうすればいいか、ぜひ皆様のご意見をお聞きしたく思います。また、旅行記、読書の感想等、皆様の投稿もお待ちしております。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

《婦人会》

代表 占部 葉子

1. 2024年度の報告

2024年度は顔合わせの食事会、工場見学、クリスマス会といった活動を行いました。まず5月には、シャングリラホテルのレストラン「フライングキャッチ」で年度初めの顔合わせを目的とする食事会を開催いたしました。

10月には例年恒例のバスツアーを行い、城陽区にある日世（青島）電機有限公司様の工場を参観させていただきました。工場見学のあと試食させていただいたソフトクリームは、今までに食べたことのない味もあり、本当に楽しい経験でした。

12月のクリスマスは、今年は閔江路の「Nootro Pasta Bistro」で行いました。毎年新しいお店を知ることができるのも、婦人会クリスマスの楽しみです。

2. 2025年度の抱負として

2025年度もお世話係のみなさんにはいろいろとお手数をおかけすると思いますが、若いみなさんで気軽に楽しく婦人会を盛り上げてくださったらと思います。活動はいくつかありますが、強制参加ではなく、関心のあるものにだけご参加いただければ結構ですので、まだ会員になったことのない方も、まずは非会員でお試しの参加をいただき、気に入ればご入会いただければと思っております。（会費は年間30円です）

《ゴルフ同好会》

会長 佐藤 博也

活動状況報告

1. 2024年度は予定通り5回のコンペを開催することができました。

03月09日	第147回	嶺海温泉GC	参加者18人
05月18日	第148回	華山新コース	参加者20人
07月13日	第149回	嶺海温泉GC	参加者26人
09月07日	第150回	華山旧コース	参加者28人
11月30日	第151回	華山新コース	参加者38人

また、11月30日のコンペは総領事杯も兼ね異風堂で盛大に納会を開催しました。

2. 2025年度の活動について

2025年度も下記5回のコンペを開催する予定です。(3月のコンペは開催済み)

3月15日(土)	第152回	華山旧コース	開催済
5月17日(土)	第153回	華山旧コース	参加者募集中
7月12日(土)	第154回	コース未定	
9月20日(土)	第155回	コース未定	
11月29日(土) または 12月06日(土)	第156回	コース未定	

ゴルフ同好会はゴルフに興味を持っている方に広くご参加をいただき、和気あいあいと気兼ねなくゴルフを楽しみ、交流を深めていく場にしたいと考えています。

青島でのゴルフライフが少しでも充実したものになるよう、皆様の御協力のもとで運営していきます。

ご参加をお待ちしております。

連絡先：伊藤 携帯 131-2263-2893

メール midori_ippai_0413@yahoo.co.jp

《テニス同好会》

会長 伊藤 裕介

1. 同好会概要

- 目的 : テニスを通じて、日本人相互の親睦と心身の健康促進を図る
会員数 : 34名(男性23名/女性15名)【2025年3月末時点】

(大人 22 名／高校生以下 12 名)

- 会費 : 前半 (初心者) 大人 1,200 元/半期、高校生以下 600 元/半期
後半 (中上級者) 大人 1,500 元/半期
～収支状況により変動～
- 活動場所 : 銀都花園テニスコート／東海中路 28 号
- 活動日 : 毎週日曜日
- 活動時間 : 前半 9:00～10:30 スクール形式での練習中心
(子供・初心者メイン)
後半 10:30～12:30 対人形式での練習や試合中心 (中級上級者)
12:30～ 昼食会 (自由参加)

2. 年間活動実績

- 定期活動 : 毎週日曜日の定期練習
(有志で水曜日夜、土曜日午前・午後にも練習会を開催)
- イベント : 10 月 ハロウィンテニス&紅白戦
12 月 クリスマス会
- 対外試合 : 9 月 第 48 回上海テニスクラブ対抗戦
3 月 第 49 回上海テニスクラブ対抗戦
- 交流試合 : 5 月 日中韓交流戦 (在青島日本・中国・韓国チームとの対抗戦)
7 月 上海交流戦 (在上海チームとの対抗戦)
11 月 日中交流戦 (中国チームとの対抗戦)

* 帰国・異動される方の送別会や懇親会も適宜開催

3. 総括

2024 年度は、毎週日曜日の定期活動に加え、有志練習会、各種イベント、対外試合、交流試合と言った様々な活動を行うことが出来ました。帰国・異動される方も多かったです。新たなメンバーも多数迎え活発にテニス活動を続けています。

スクール形式の練習に参加している子供達には小学校低学年～中学生までいますが、最初はラケットにボールを当てることもままならなかった小学校低学年の子供達が、1 年後には同年代で試合を楽しんでいる姿も見受けられ、全員がテニス活動を通じて心身共に成長していることを実感しています。

大人の参加者についても、初心者が初中級～中級と駆け上がり中国・韓国チームとの対抗戦で活躍しており、それに負けじと上級者は上海で開催されるクラブ対抗戦でより上位を目指すべく日々練習に励んでおり、各レベルでテニスを楽しみつつ懇親を深められるアットホームな雰囲気となっています。

中国チームや韓国チーム、在上海の日本チームとの交流試合を多数行いましたが、テニスのみならず試合後の懇親会を通じ国際・他地域交流を深めると共に、青島チームの実力底上げや結束の向上にもつながっていると感じています。上海クラブ対抗戦では8大会連続で決勝トーナメントに進出しており、今年3月に開催した際は悲願のベスト8を成し遂げました。

テニス同好会は、初心者から上級者、老若男女問わずテニスを楽しんで頂くと共に、活動を通じ参加メンバーの親睦と健康促進を目的にしています。2025年度も、ハロウィンテニスや紅白戦、クリスマス会等の懇親会、対外試合、交流試合と言った活動のより一層の充実を図り、会員一同の協力の下、運営していきたいと思えます。

《ソフトボール同好会》

会長 平井 一康

1. 同好会概要

2025年をもって創部28年目を迎えさせて頂きました歴史有る同好会です。青島日本人会の目的・規約にのっとり、「日本人相互の親睦・交流の促進」「青島生活の充実」「さらなる同好会の発展」を目的として、ソフトボールを中心に同好会活動を推進して参りました。

2024年12月末現在35名の会員が在籍し、同好会会長、事務局、運営、会計、渉外、チームキャプテン(2名)の役員を配置し、同好会を運営しています。

活動場所：青島市 中山公園サッカーグラウンド

活動時間：毎週日曜日 午前8時～10時

年会費：1,800元/(前期900元・後期900元) ※2025年年会費は1,500元予定。

2. 年間活動

2024年度は1月に開催される新年会で1年間のリーグ戦における所属チームの発表及びドラフト発表が行われました。3月には無事開幕戦を実施することができ、両チームシーズンを通して熱戦を繰り広げ、前後期共に最終戦まで纏れ込む白熱したシーズンとなりました。また対外試合となる青島杯へは、初の試みとなる青島ドランカーズと黄島チームの混合チームとして参加しました。残念ながら結果はベスト8でしたが、混合チームとして試合に参加したことで、新しい交流の形が出来ました。例年おこなっている上海、杭州との三都交流戦に関しては、昨年に続き青島にて、上海チームと杭州チームの3チームで交流戦を実施致しました。また黄島チームとの年2回の交流戦に青島中国チームも加わり交流戦も行いました。年間最後の活動月となる11月には

年間優勝決定戦を行い、2024 年年間優勝チームが決定しました。そして年度のしめくりである納会を開催し、優勝チーム、優秀選手の表彰を同好会として行い、1 年間の活動を無事に終えることができました。

3. 特別活動

毎週のソフトボール活動以外では、対外試合（前述の通り、上海・杭州チームとの 3 都交流戦/黄島チームとの年 2 回の交流戦/年 2 回ベースで黄島チーム、青島中国チームと交流試合/上海遠征/青島杯参加）を行い、試合後は懇親会を開催して親睦を図りました。ソフトボール以外では、ゴルフコンペやバドミントン、会員の家に集まってのホームパーティー（自称炭水化物祭り他）を開催しました。その他、日本人会イベントへも積極的に参加致しました。

1 月 新年会

3 月 開幕

4~10 月 練習・リーグ戦/黄島チーム交流戦/青島杯出場/上海、杭州チーム交流戦/青島中国チーム交流戦/ゴルフコンペ/ホームパーティ

11 月 優勝決定戦 /チャイナカップ参加（上海）中国チーム、黄島チームとの 3 チーム交流戦

12 月 同好会納会・忘年会

2024 年度は帰任・異動に伴い会員は昨年度対比では 2 名減少しました。当同好会の活動におきましては、同好会会員の努力もさることながら青島日本人会、各企業様のご支援のおかげと感謝致します。2024 年も大変有難うございました。2025 年度も笑顔の絶えない明るく楽しい魅力的な同好会活動を推進して参ります。

《写真同好会》

会長 赤澤 陽平

1. 同好会概要

写真同好会では毎月一回撮影課題（テーマ）を決めて撮影した写真を持ちよって鑑賞評価を行い、入賞作品は青島日本人会 HP「月刊青島」及びフリー雑誌「こみゆにけーしょん青島」に掲載されます。

2. 活動報告

写真撮影にご興味のある方（携帯写真を含む）のご参加をお待ちしております。

月	月例会テーマ		
4月	空	ガラス	自由
5月	水	植物	自由
6月	青	緑	自由
7月	光	建物	自由
8月	雲	乗り物	自由
9月	夜	反射	自由
10月	色	街並み	自由
11月	生活	朝焼け夕焼け	自由
12月	Move	静	自由
1月	赤	白黒	自由
2月	夜景	携帯撮影	自由
3月	階段	雲	自由

《卓球同好会》

代表 占部 葉子

1. 同好会活動目的

- ①卓球を通じて、広く青島に住む日本人の親睦を深め、その身体面・精神面における健やかな生活に寄与する。
- ②卓球を通じて中国人及び青島に在住するその他の国の卓球愛好者との交流を進める。

2. 日常の活動

定例練習日：

毎週土曜日と日曜日 15:30-17:30 練習場所はクラウンプラザ地下2階 良友乒乓俱樂部

会費の徴収：

会費としては、場所代として当日参加者から、1人あたり30元を徴収。定額の年会費といったものは徴収しない。定例練習以外に、有志による自由練習及びコーチについての練習もあり。これも参加者がそのつど場所代又はコーチ代を負担する

3. 2024年度の活動状況

以前に行っていた平日夜の練習は、結局できないまま週末だけの練習となっています。当会は上海や蘇州のクラブとは異なり、外部との試合などはあまりアレンジすることができませんが、楽しくスポーツをするという点では役割は果たしているかと思えます。

2025年3月15-16日には、例年恒例の「全中国日本人卓球同好会交流戦」が上海で開かれました。今年は青島同好会からは4名が参加しました。

4. 2025年度の目標

会の規約にも謳っていますように、参加される皆様の健やかな生活に寄与することが同好会の最大の目的です。よって、あまり勝敗にはこだわらず、上手な人も、そうでない人もみんな楽しく練習とプレーができればと思います。

会員 20名（2025年3月現在）

《サッカー同好会》

会長 棚橋 勇介

1. 概要

2010年より活動を始め、2022年より青島日本人会公認同好会となり、今年で発足から15周年を迎える日本人サッカーチーム（青島日本人サッカー部 GGJ）です。青島や山東省近隣都市在住の日本人や日本にゆかりのある中国人メンバーを中心に構成されており、毎週1回、主に中国人チームを相手に試合、その他にも華北地区の他都市（北京市、天津市、大連市）の日本人サッカーチームとの交流戦である華北カップ、韓国人チームや上海日本人サッカーチームとの交流戦なども実施しております。

試合以外では、春節・国慶節などの長期休暇での遠征や中国スーパーリーグのスタジアムでの観戦、年末のGGJアワード（表彰式）、帰任者の壮行会など様々なイベントも開催しております。

2. 活動内容

日時：毎週日曜日午前中（8:30～12:00の間で2時間程度）

場所：中能天泰足球公園、工人体育场、第二体育场 等

試合：40分ハーフのフルコート

3. 2024年度活動報告

24年度は中国人チームとの協会試合の他、韓国人チーム主催のキムチカップ、中国・韓国・欧州勢・アフリカ勢・日本チームによるミニワールドカップへ参戦した一年でした。通算戦績は6勝13敗9分と悔しい結果となりました。

年末の締めくくりとなる GGJ アワードでは、実績に基づいた得点・アシスト王の他に、各メンバーからの投票により選出する GGJ 賞（ベストオールドプレイヤー）・MVP・新人賞等の表彰式を行った。

4. 総括

年度初めはメンバーの出入りで、出が多くアクティブメンバーが減少し試合開催に苦戦したものの、積極的なスカウト活動による新規加入があり年間を通して充実した活動ができました。なお依然として毎週末に試合の為に維紡・諸城や平度から試合に参戦し盛り上がりを見せているチームです。

25 年度も中国人チームとの試合を中心に、各大会にも積極的に参加していきたいと思います。引き続き、怪我せず楽しくをモットーとしながらも、勝負にはこだわり、多くの勝利を積み重ねていきたいと思います。

(4) 2024 年度青島日本人学校運営理事会 活動報告

青島日本人学校運営理事会
理事長 谷 直知

平素より青島日本人学校の運営にご理解とご協力を頂き誠に有難うございます。

2024 年度は学校行事を予定通り実施する事が出来ました。5 月には修学旅行で小学 6 年生が済南・泰山、中学部は西安を訪問し中国ならではの貴重な体験がたくさんでき素晴らしい思い出になりました。また、体験学習や工場見学、キャリア学習などで在青島日本国総領事館そして会員企業の皆様から非常に多くのご協力を頂きました。ありがとうございました。とりわけ 2025 年 2 月に行われたバドミントン日本選手団との交流は生徒児童にとって大変貴重な体験になりました。全日空さまを始め交流会の実現にご尽力頂いた皆さまにあらためて深謝申し上げます。

本年度は地域の学校との交流も盛んに行われました。上清路小学、第六十五中学、青島大学、そしてリモートですが北海道日新小学校、沖縄県平真小学校との交流もでき、生徒児童、教員にとって学びの機会が増えました。

安全面につきまして、昨年度は中国国内で日本人学校のバスや生徒、現地小学校の生徒などを対象とした痛ましい事件が相次ぎました。総領事館、公安当局との連携により、学校周辺の警備強化、安全装備と設備の強靱化、通学バスへの警備員さんの添乗と徒歩通学者への付き添い、通学バスのルートとバス停の見直し、リスクの高い日の授業リモート化といった対応をしています。一時は嫌がらせ電話が発生するなど緊張した日々もありましたが、おかげさまで大きな事故もなく 2024 年度が無事終了しております。なお警備員さんの通学バス添乗については、2025 年度も継続・予算化する方針です。

学校財政については、2021 年度より赤字経営となっておりましたが、日本人会から 22 年度、23 年度の 2 か年で計 64 万円のご支援を頂いたほか、24 年度は日本からの政府援助が校舎賃借料、安全対策費ともに 100%、計 703 万円の援助となったこともあり、単年度会計では黒字となりました。

しかしながら、2025 年度入学式時点での児童・生徒数は 41 名（昨年比-6）となっており、予断の許さない状況が続いております。学校を挙げてさらに充実した学習環境づくり、学校の魅力度アップに取り組んでいくのはもちろんですが、青島日本人会の皆様からの引き続きのご支援を賜りたく、謹んでお願い申し上げます。

【青島日本人学校運営理事会 主な活動実績・決議事項】

活動内容

青島日本人学校運営上の重要事項の審議・決議

各種報告（校務、財務、PTA、通学バス運営委員会、校舎管理事務室他）

学校を取り巻く様々な課題への対応

活動実績

運営理事会開催（年 10 回 オンライン含む）

青島日本人学校入学説明会

入学式、卒業式、学校行事陪席 など

【学校案内】

名 称：青島日本人学校 <http://www.qingdaojs.org/>

住 所：青島市市北区同安路 56 号

学 費：入学金 15,000 元、授業料 5,000 元/月

（別途、スクールバス・PTA 会費他）

第2号議案

2024年度会計報告
(2024年4月1日～2025年3月31日)

2025年4月12日
(単位:人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	678,821	1. 事務局費	253,870
2. 2024年度会費収入	553,400	2. 商工会活動費	35,354
法人会員	546,800	全体会	21,254
個人会員	6,600	部会	14,100
3. 臨時会費収入	94,000	地区分科会	
・総会懇親会会費	30,000	3. 生活文化関連費	83,679
・クリスマス会費	64,000	婦人会	800
4. 銀行利子	0	ちんたお文庫	14,588
5. その他(Tシャツ販売等)	10,400	運動会	1,274
		月刊青島	12,000
		歴史保存会	0
		縁日	35,317
		公認同好会支援	19,700
		社会奉仕	0
		4. 会議費	102,875
		総会	31,570
		クリスマス会	71,305
		5. 日本人学校支援費	0
		6. ジャパンデー等文化催事	23,930
		7. 情報整理(HP改修等)	0
		8. 次年度繰越金	836,913
【 合計 】	1,336,621	【 合計 】	1,336,621

第3号議案

監査報告

青島日本人会規約に則り、第34期(2024年4月1日～2025年3月31日)の会計検査を関係帳簿、証憑書類に基づいて実施したところ、全て厳正に処理されていることを確認いたしました。

2025年4月12日
青島日本人会 監事

武田 栄作

宮澤 知宏

第4号議案

2025年度 青島日本人会 理事及び監事（案）

	氏名	所属企業名	役職
理事	池田 修	豊島国際（上海）有限公司 青島分公司	副総経理
理事	井波 紀丈	日郵物流（中国）有限公司青島分公司	副総経理
理事	今西 昭彦	新日清制粉食品（青島）有限公司	総経理
理事	岩田 知大	瑞穂銀行（中国）有限公司 青島支店	副支店長
理事	大芦 弘一	丸紅（青島）有限公司	総経理
理事	岡本 将紀	日本興亜財産保険（中国）有限責任公司 山東分公司	総経理
理事	川田 正博	株式会社山口銀行 青島支店	支店長
理事	河辺 敏郎	青島聯合包装有限公司	総経理
理事	小山 久子	在青島日本国総領事館	首席領事
理事	高橋 洋行	青島扶桑精製加工有限公司	総経理
理事	高橋 由一郎	依摩泰（青島）商貿有限公司	総経理
理事	滝浪 晋	青島日水食品研究開発有限公司	総経理
理事	谷 直知	青島永旺東泰商業有限公司	総経理
理事	田村 高広	青島新東機械有限公司	総経理
理事	常木 尚隆	全日本空輸株式会社 青島支店	支店長
理事	新関 亘	青島松下電子部品（保税區）有限公司	副総経理
理事	能勢 稔彦	伊藤忠（青島）有限公司	総経理
理事	野田 大輔	三菱日聯銀行（中国）青島支店	支店長
理事	古川 素一	東麗医療科技（青島）股份有限公司	総経理
理事	本多 亮	三菱商事（青島）有限公司	総経理
理事	皆川 幸夫	日本貿易振興機構（JETRO）青島代表処	所長
理事	森岡 康彦	青島白鷹服装有限公司	総経理
理事	山部 秀紀	カケンテストセンター青島試験室	室長
監事	武田 栄作	青島泰宝美客食品有限公司	副総経理
監事	宮澤 知宏	獅王日用化工（青島）有限公司	董事

第5号議案

(活動計画は2025年度の各候補により作成しております)

(1) 2025年度事業活動計画(全般)

青島日本人会会長

野田 大輔

1. はじめに

2025年度、青島日本人会会長を務めさせて頂くことになりました三菱UFJ銀行の野田と申します。中国駐在生活は約10年間であり、昨年度は商工会会長職、日本人会副会長職と初めて日本人会の要職を務めさせて頂きました。その経験も活かしながら、今年度は精一杯取組んで参ります。会員の皆様方におかれましては、ご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

今年度は3点注力して参ります。

1点目は安心した駐在員生活です。平時生活する上では、青島では快適な生活を送っていますが、やはり海外生活には様々なリスクがあります。特に近年の中国においては、疫病とそれに伴う政策、地政学的リスク、日本人学校問題等々が発生しました。有事の際にスピーディーに対応すべく、市政府関連等とのコミュニケーションは密にし、タイムリーに会員の皆様に情報を還元することを心掛けたいと思います。

2点目は地域経済の活性化です。足元、日系企業や駐在員数は減少傾向に向かっています。ここ青島や山東省でも、進出の話より撤退、事業縮小の話が多いです。現在の経済環境下、会員数を増加に持っていくことは難しいかもしれませんが、維持、出来れば緩やかな減少傾向に止める事が望ましいと考えています。会員の皆様の成長に繋がるよう日系企業のみならず、中資系企業様との交流は会員の皆様や地域経済の発展に繋がると考えています。

3点目は駐在員生活を充実すべく、交流の場を活性化する事です。

我々駐在員は異国の地で单身生活を送り、又は帯同家族の皆様も日本とは異なる環境で日々過ごしています。勿論、海外ならではの楽しみも有りますが、家族や同僚、友人との交流は、日本と比べると遥かに少ないです。従来より日本人会では商工会が開催するセミナーや懇親会、生活文化会が開催する各種イベント、また、同好会や婦人会等を運営しております。駐在員は年々減少しておりますが、少しでも交流の場をご利用頂いて、充実した駐在生活の一助になればと考えております。

2. 2025 年度活動計画

青島日本人会は、1990 年に設立されており、歴史ある組織となっています。今後も中国企業とともに成長・発展していくために、当会は、在青島日本国総領事館や JETRO 青島代表処からご支援を頂戴しつつ、連携を図りながら、青島市政府機関との密なコミュニケーションを軸に、以下に掲げる活動計画を通じて、日本人の生活環境、企業活動環境の向上に尽力して参ります。

- ① 青島市政府、および山東省/地方都市政府との関係強化活動
- ② 会員企業が抱える問題の市政に対する陳情
- ③ 商工会セミナー/各部会セミナー等開催
- ④ 青島日本人学校の運営
- ⑤ 在青島日本国総領事館、JETRO 青島代表処との連携による情報提供
- ⑥ 各種生活文化活動の実行
- ⑦ 当地企業との交流、ネットワーキング活動
- ⑧ 省内他都市日本人会との連携
- ⑨ 社会貢献活動

最後に 1 点お願いがございます。

青島日本人会は、会員企業、駐在員、及びご家族の皆様が少しでも、経営環境、生活環境が改善することを目的としております。会員の皆様におかれましては、日本人会の活動に対し、更なるご支援、ご協力を賜り、併せて日本人会活動への積極的なご参加をお願いします。また、ご要望については、日本人会事務局や理事の皆様にご相談頂ければと思います。それらのご意見を活動に反映させることで、更なる風通しの良い組織にしたいと考えています。宜しくお願い致します。

(2) 商工会

商工会会長
常木 尚隆

1. 2025 年度活動方針

商工会とは「青島市及びその周辺に所在する日系企業を中心に結成され、青島日本人会規約第 2 条にあるように「企業活動にかかわる有効な情報交換の機会を提供すること」を目的にして活動しています。

当会は、「機械・電気・化学部会（登録企業数 124 社）」、「流通・サービス部会（同

99社)」、「食品部会(同96社)」、「繊維部会(同82社)」の四部会から構成されています。(複数の部会に登録している企業あり)

2025年の世界経済は回復傾向に向かうものの新型コロナ禍前の水準に比べれば、低水準の成長で落ち着きつつあります。一方で、不確実性はより一層高まる見込みであり、ここ中国においても、3年連続で、実質GDP成長率の政府目標は前年比5.0%前後と設定されましたが、需要の先行き、地政学リスク、不動産市況、米国の関税政策など、様々な要件による不確実性は高まっており、年々達成のハードルは高まっているといえます。

それらも要因の一つと推察しますが、昨年11月に日本人の訪中に伴う査証免除再開はしたものの、日本人の訪中数も、緩やかな増加に留まっており、現時点では、日本企業の投資を大きく後押しするには至っていません。また、山東省、青島市においても日系企業数、駐在員数は、減少傾向が継続しています。つきましては、商工会4部会はじめ、JETRO青島代表処と連携し、市政府主催の外資系企業円卓会議など、様々な機会を通じて、訪中需要増、円滑な企業活動に資する提言をすることで、会員企業の皆様の経済活動に貢献して参ります。

また、会員企業の皆様の経済活動に寄与するセミナーを催させて頂くと共に、会員企業の皆様が抱える課題を共有し、気づきを得る機会、地域の絆を強いものとする機会として、セミナー後は懇親会を設定させて頂くことで、地域の活性化に貢献して参ります。

2. セミナー開催

本年度もセミナーは定期開催(年間5回程度)を計画致します。在青島日本国総領事館、JETRO青島代表処、外部講師等のお力を借りながら、規制や法律の改定、経済動向、私生活への影響などを踏まえながらテーマを検討していきます。会員企業皆さまのお困りごとを中心に、タイムリーに開催出来ることを心掛けて運営して参ります。

3. 各部会活動

「食品」「繊維」「機械・電機・化学」「流通・サービス」それぞれの部会の個別活動として、各種商談会や懇親会などを開催し、会員様との親睦・情報交換・交流の活性化に努めます。

4. 政府関係機関、地域社会との交流

山東省商務庁、各市商務局、青島市の各政府機関および在青島日本国総領事館、JETRO青島代表処と良好な関係を維持します。また、山東省内周辺都市の日本人会商工部門とコミュニケーションを密にし、会員様の企業活動向上の一助となるべく努力いたします。

(3) 生活文化会

生活文化会会長
岩田 知大

1. 2025 年度の活動方針

生活文化会は、年間行事・同好会/婦人会・情報発信等を通じ、日本人会会員の皆様の充実した生活を実現することを目的として活動しております。2025 年度も会員の皆様のご意見、ご協力を頂きながら、お互いにコミュニケーションを図ることができる機会を提供していきたいと思えます。

2025 年度は「縁日」「クリスマス会」の開催、同好会等の活動支援強化を通じ、生活文化会として皆様の青島での生活をより豊かで実りの有るものとする一助にしたいと考えています。

会員の皆様には例年多大なるご支援、ご協力を頂き誠に有難う御座います。今年度も宜しくお願い申し上げます。

2. 主な活動内容

① 年間行事の企画実行

青島日本人会縁日（2025 年 6 月予定）

クリスマス会（2025 年 12 月予定）

② 各同好会・婦人会への活動支援

③ 「月刊青島」を通じた青島生活情報の発信

④ ちんたお文庫運営に対する支援

⑤ 社会貢献活動の実施

(4) 青島日本人学校運営理事会

青島日本人学校運営理事会
理事長 谷 直知

青島日本人学校は 2000 年 8 月に開設された青島日本人補習授業校を端緒とし、2004 年度より青島日本人学校として開校以来、青島日本人会の会長、副会長を含む理事を中心とした学校運営理事会がその運営にあっております。

学校教育目標は「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童の育成」です。めざす中期目標として、「自他を尊重し、協働しながら社会の創り手としての自覚をもつ児童・生徒の育成」を掲げています。青島の、ち「知恵」、ん「感動」「感性」、た「たくましさ」、お「おもいやり」、をキーワードとして、以下のように中期教育目標を定めております。

- ・他者と協働しながら物事を多面的、多角的に捉え課題解決する
- ・自分のよさや可能性を認識する
- ・自己承認力を高め、多様性を受容する
- ・互いを尊重し、向上し合える、高みを目指した人間関係を形成する

教育課程は文部科学省が示す学習指導要領に準拠し、さらに青島の地域性を活かしたカリキュラムとしています。日本と同じ教科書を使用し日本と同様の教育を行います。さらに現地中国の自然、歴史、伝統、文化、生活習慣に触れることを通じて、国際性豊かな児童・生徒の育成を目標としています。また、生徒児童が安心して通学・授業を受ける事が出来る様、今年も安全対策に留意してまいります。

本校の大きな特徴は少人数を生かし一人一人に合わせたきめ細かい教育ができることです。また、学年の垣根を越え全校がまるで兄弟・姉妹のようお互いを支え合う独自の文化があります。開かれた学校として、現地校との交流や企業訪問・職場体験などの機会も豊富にあり、それらを通じ日中両国の文化や習慣を理解・尊重する国際人としての基礎がつけられます。英語教育と ICT 教育も充実しており、グローバルに活躍できる人材の育成に非常に適した環境となっています。会員企業・団体のみなさま、小中学校へ就学予定のお子様を帯同される社員・職員様に対し、ぜひ青島日本人学校をご推薦頂きたく存じます。

青島日本人学校運営理事会は学校活動を全面的に支援し、より良い学校運営に努めてまいります。新年度も日本人会会員及び、関係者の方々のご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

第6号議案

2025年度予算案

(2025年4月1日～2026年3月31日)

2025年4月12日

(単位：人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	836,913	1. 事務局費	282,140
		2. 商工会活動費	65,000
		全体会	33,000
2. 2025年度会費収入見込	550,000	部会	20,000
法人会員(260社*2100元)	546,000	地区分科会	12,000
個人会員(20*200元)	4,000		
		3. 生活文化関連費	94,000
		婦人会	3,000
3. 臨時会費(総会・クリスマス会)	100,000	ちんたお文庫	15,000
		月刊青島	12,000
		縁日	40,000
		公認同好会支援	24,000
4. その他収入	5,000		
		4. 催事費用(総会・クリスマス会)	120,000
		5. 日本人学校支援費	100,000
		6. 文化関連費	22,000
		7. 情報整理(HP改修等)	5,000
		8. 活動予備費	30,000
		9. 次年度繰越金	773,773
【 合計 】	1,491,913	【 合計 】	1,491,913

(付表) 2024 度青島日本人会理事・監事異動名簿

理事会		企業名		敬称略
7 月	退任	依摩泰(青島)商貿有限公司	総経理	酒井 康雄
	新任	同	経理	加柴 裕也
	退任	青島誠誉食品検測有限公司	総経理	安藤 孝雄
	新任	青島白鷹服装有限公司	総経理	森岡 康彦
9 月	退任	日本貿易振興機構(JETRO)青島代表処	所長	吉川 明伸
	新任	同	所長	皆川 幸夫
10 月	退任	みずほ銀行(中国)有限公司 青島支店	副支店長	大塚 智
	新任	同	副支店長	岩田 知大
	退任	依摩泰(青島)商貿有限公司	経理	加柴 裕也
	新任	同	総経理	高橋由一郎
1 月	退任	青島扶桑精製加工有限公司	総経理	二宮 主税
	新任	同	総経理	高橋 洋行
2 月	退任	青島日本国総領事館	首席領事	吉田智久美
	新任	同	首席領事	小山 久子
3 月	退任	日郵物流(中国)有限公司青島分公司	副総経理	荒木信太郎
	新任	同	副総経理	井波 紀丈